

12月定例教育委員会議事録

- 1 開催日 平成29年12月20日(水)
- 2 会場 大井川庁舎 2階 第3委員会室
- 3 開会 午後2時58分
- 4 出席委員 佐藤美代志教育長
大石智之委員(職務代理者)
北川利男委員
奥川重子委員
山竹葉子委員
- 5 会議出席者 青島正幸教育部長
村松繁美生涯学習部長
八木勝義(公財)焼津市振興公社常務理事兼焼津文化会館長
橋本敏明教育総務課長
近藤和人学校教育課長
鈴木孝之学校給食課長
富田明裕社会教育課長
松永年史スポーツ振興課リニック・パラニック担当主幹
杉本弘行文化財課長
志賀美之図書課長
小長谷宏ニデイスカバリパーク焼津館長

書記 杉山佳丈教育総務課総務担当主幹
- 6 議事 別紙のとおり

<p>佐藤教育長</p>	<p>【午後 2 時 58 分開会】</p> <p>皆さん、こんにちは。</p> <p>年末の本当にお忙しい中、12 月の定例教育委員会にお集まりいただき、ありがとうございます。それでは、12 月の定例教育委員会を只今より始めさせていただきます。本日の議事録署名人は北川委員と奥川委員となりますので、よろしくお願いいいたします。なお、途中で中野こども未来部長さんにつきましては 4 時から本庁で会議があるものですから、説明と質問を受けましたら途中で抜けさせていただきますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。議第 29 号「平成 30 年度教育費当初予算要求主要事業（案）について」説明をお願いします。</p>
<p>青島教育部長</p>	<p>(事前配付資料により説明)</p> <p>(説明概要)</p> <p>教育部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校教育環境整備事業費（19,606 千円） 焼津地区 10 小学校の児童用机・椅子の更新 ・ 小学校給排水設備等改修事業費（114,570 千円） トイレの洋式化関連事業費 ・ 中学校教育環境整備事業費（62,800 千円） エアコンの設置及び生徒用机・椅子の改修、更新 ・ 教育センター事業費（49,396 千円） ALT 及び学習支援コーディネーター増員 ・ 小学校低学年学校生活安定事業費（32,367 千円） 低学年サポーター 41 人の配置 ・ 外国人児童生徒教育支援事業費（9,087 千円） 外国人児童生徒への日本語指導、学習支援 ・ 学校給食施設整備費（15,128 千円） 食器汁椀ボール、食器深皿、真空冷却機の更新
<p>村松生涯学習部長</p>	<p>生涯学習部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊田地域交流拠点整備事業（12,100 千円） 豊田地域交流拠点施設整備事業に係る委託料 ・ 文化会館こども芸術発信支援事業（117,387 千円） 焼津・大井川両文化会館の舞台等の環境整備 ・ 天文科学館観光振興事業（14,729 千円） ロボット教室の開催とディスカバリーパーク焼津駐車場・遊歩道の修繕 ・ 東京オリンピック・パラリンピック推進事業（32,541 千円） モンゴル国ナショナルチーム強化合宿及び交流事業 ・ スポーツ広場維持管理費（16,389 千円）

	<p>田尻スポーツ広場照明設備改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球場維持管理費（10,537千円） <p>野球場屋外トイレ改修に伴う設計業務委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花沢地区伝統的建造物群保存対策事業（34,089千円） <p>歴史的建造物3棟の修理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花沢地区ビジターセンター整備事業（5,759千円） <p>花沢地区内の空き家を活用したビジターセンターの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館図書資料購入事業（26,500千円） <p>焼津図書館、大井川図書館の図書資料購入費</p>
中野こども未来部長	<p>こども未来部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導力向上支援事業費（678千円） <p>幼稚園・保育所職員への研修費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園舎等工事費（8,991千円） <p>静浜幼稚園空調機取付工事、東益津幼稚園グランド整備工事</p>
佐藤教育長	<p>議事内容の説明が終わりましたが、事前に委員の皆さんから質問をいただいておりますので、順次、担当の課長の方から回答をお願いします。</p>
橋本教育総務課長	<p>まず初めに、私から回答の方をさせていただきます。北川委員より今月1日に市内の小学校低学年用トイレを2020年までに100%洋式化することが発表されたが、全ての小中学校で洋式化が完了する目標年度はいつ頃を想定されているかとの御質問をいただきました。回答ですけれども、皆様も御承知のとおり、小中学校全てのトイレを洋式化するには多くの時間と費用がかかるため、国の学校施設環境改善交付金を活用し、まずは小学校低学年用のトイレの洋式化を進めておりますけれども、それ以外の小学校・中学校のトイレの洋式化の具体的な計画は現在ございません。今後、学校施設の長寿命化計画とあわせて検討をさせていただきたいと思っております。</p>
近藤学校教育課長	<p>小学校低学年学校生活安定事業費の拡充についてであります。委員からの御質問が、「第1学年全ての学級に1人ずつ配置する」は、幼少期の教育の充実を目指してきた焼津市の画期的な取組と言える、是非実現してほしい、低学年サポーターの名称は残すのか、1年サポーターと変更しないのは運用によっては低学年サポートも可という含みと考えられるが、との御質問をいただきました。焼津市では、来年度から小学校低学年サポーターの増員ということで計画をしております。将来的には、各小学校の1・2年生の全ての学級に一人のサポーターを配置したいと考えております。その手始めとして来年度は、第1学年の全ての学級に1人ずつ低学年サポーターを配置できるように計画をしております。配置は1年生の学級であります。児童の実態や学校の状況によっ</p>

て、2年生の学級等へのサポートについても、柔軟に対応できるように考えております。

続いて二つ目です。外国人児童生徒教育支援事業についてです。委員からの御質問が、事業内容について「・・・及び・・・及び、・・・したり、したりする」文節が、どの単語に係るのかわかりにくいので伺いたい、焼津市が昨今、外国人雇用に積極的に取り組んでいることを反映して、日本語はもちろんのこと、日本の生活習慣も全てわからないまま学校へ入学してくる子たちが増え、その子たちを落ち着かせることに苦慮していると聞いている、それに対応するコーディネーターであると思うが、コーディネーターの業務の中に、外国人の子弟の状況によっては、就学前の事前教育も含むのか、教科書以外の効果的な教材選定や教材の収集を行い、各校への指導資料として貸し出す業務もしていただけたらありがたいのではないかと、具体的業務内容は今回の審議内容に含まれていないが意見を述べる場がないので記述させていただいた、という御質問をいただきました。外国人児童生徒教育コーディネーターの役割としましては、外国人児童生徒が学校生活へ適応するための、一つ目が学習・生活支援、二つ目が保護者への支援、三つ目がこの一つ目、二つ目を行う支援員への指導・学校訪問の調整ということで考えています。三つ目が主な業務と考えていますが、一つ目、二つ目については、急な転入等も多いものですから、支援体制が整うまでの間、コーディネーターが対応することもあります。コーディネーターについては、本年度、学校教育課の臨時職員とした総括支援員を、その業務内容から名称変更した方が適切であろうという判断から、勤務日数の見直し等も含めて予算要求をしているものであります。教材については、今年度35万円の教材費がついており、適切な教材等の選定、購入を総括支援員が進めているところであります。支援員や学校に教材等を配布する際、効果的な使い方等もあわせて伝達するように努めております。教材については、これまで予算も取っていなかったもので、整えてこなかったということで、まだまだ必要なものですから、来年度もコーディネーターによって適切な教材選定を進めて行きたいと考えております。それから、就学前のかかわりとしてしましては、就学時健診に支援員が出向いて、手続き等の支援を何校かで行いました。今後行われる入学説明会においても、希望校には総括支援員が伺って、入学に向けての心構え等の話を保護者に行うことも予定しております。昨年度は外国人児童生徒への支援時間の大幅増、本年度は総括支援員の配置と、支援員のスキルアップや教材の充実と事業の拡充を図ってまいりました。しかし、外国人児童生徒の入国による新規就学は年々増加しております。在籍児童生徒数は5年前の約2倍となっております。支援を進める中で見えてくる課題もあって、学校教育の中でできることを、学校や子どもたちの助けになることをと模索しながら進めている最中であります。来年度も外国人児童生徒教育の充実が図られるよう、コーディネーターを中心に事業に取り組みたいと考えております。

三つ目が、事業としてあがっていない特別支援教育についてということであ

ります。委員からの御質問は、特別支援教育対象児童・生徒が増加し、解決しなければならない課題が山積しているとの報告を度々受けた、30年度の主要事業に全くあがっていないがよろしいのか、特別支援学級は学級数が増えても級外職員の配当はない、設置学校は校内運用で特別支援学級支援を実施している内情がある、特支学級設置校を増やしていく案もあると聞くが、時間を要する案件である、「〇学級以上の設置校には市単教員(支援員)を置く」といったことは検討できないだろうか、という御質問をいただきました。今年度焼津市では、特別支援教育の支援員として計55人を配置しております。内訳としては、通常の学級に在籍する特別支援教育を必要とする児童生徒への支援員として37人、特別支援学級に在籍する児童生徒への支援員として18人です。通常学級に在籍する児童生徒への支援員は、特別支援教育を必要とする児童生徒数の割合と支援員の勤務時間との関係から、児童生徒数が400人以下の学校には一人、401人以上800人以下の学校には二人、800人以上の学校に三人を配置しておりますが、委員御指摘のとおり、対象児童生徒の割合が増加しているため、配置基準の見直しを行っているところであります。資料下部にあります参考の通常学級の支援員の配置基準についてという所を御覧ください。この基準を決めたときの考え方なのですが、支援員の一週間の勤務時間が1日4時間なものですから20時間として、1時間に一人の子どもの支援をすると週に20人の対象児童の支援が可能となるということで、今から10年前、平成19年当時ですが、個別支援ファイルを作成して特別な支援を行っていたのは5%だったということで、400人の5%が20人ということで、400人に一人支援員を配置することで、これで1週間に1時間は支援を受けることができるという計算です。しかし、年々増えてまいりまして、本年度8月に実施した調査では特に小学校においては、11.5%の児童の個別指導ファイルを作成しているという結果が出ました。200人の10%が20人となりますので、児童生徒200人に一人支援員をつけたいということで拡充予算を上げたのですが、残念ながらこちらについては予算がつかなかったということでもあります。それから次に、特別支援学級に在籍する児童生徒への支援員については、平成27年度は10人でしたが、平成28年度には14人、今年度には18人ということで徐々にではありますが増員してまいりました。来年度についても、増員を計画しているところであります。年々支援学級の数や在籍する児童生徒数が増加している現状から、十分な支援ができるように配置基準を設定して配置していくことを検討しているところであります。学校教育課といたしましては、できるだけ早いうちに特別支援学級1学級につき一人ということで支援員の配置を実現させたいと考えております。以上です。

鈴木学校給食
課長

奥川委員から今回、南棟分の汁椀、深皿の更新は決して時期尚早ではない、盆、食器かご等の更新についての計画を知りたいという御質問であります。回答ですが、児童生徒が給食時に使用している盆は、学校で保管をお願いしてお

	<p>ります。夏休み、冬休み、春休みの長期休暇中には、学校給食センターで回収し、職員が一枚一枚、手洗いによる洗浄を行っておりますが、洗浄中にひび割れ等の破損がある場合には、学校給食センターにある予備の盆と交換しております。予備の盆は、児童生徒数の減少により、学校給食センターに多数あるため、今のところ更新の計画はありません。食器カゴにつきましては、毎日、学校から返却し洗浄する際に異常の有無を確認しており、異常があれば、その都度、購入しております。学校で、丁寧に取り扱いいただいているため、傷みは少なく、更新の計画はございません。また、配膳時に使用する、お玉やトングについても、同様に傷みは少ないため、破損した場合のみ購入することで対応しております。以上でございます。</p>
<p>松永スポーツ 振興課主幹</p>	<p>スポーツ振興課長につきましては本日、東京に出張しておりますので、私からお答えさせていただきます。大石委員より、東京オリンピック・パラリンピック推進事業の中で、「交流事業及び啓発」として計画されているものを教えてほしい、また、モンゴル国選手が合宿する場合に焼津市が負担する費用はどの部分になるのでしょうか、という御質問をいただいております。東京オリンピック・パラリンピック推進事業における「交流事業及び啓発」として計画されているものについては大きく四つございます。まず一つ目が、モンゴル国レスリング・ナショナルチームの強化合宿、二つ目といたしまして、同じくモンゴル国パラ陸上競技・ナショナルチームの強化合宿、三つ目といたしまして、モンゴル国レスリング少年団を迎えての小学生による交流、四つ目といたしまして、焼津市内の高校生がモンゴル国を訪問してのスポーツ交流、以上の四つの事業を計画しているところであります。また、啓発事業といたしましては、横断幕及び缶バッジを作成いたしまして、掲示や配布をして、広く市民にモンゴル国を紹介し、市民の意識の醸成を図ってまいりたいと考えているところでございます。次に、モンゴル国選手が合宿する場合の焼津市が負担する費用についてであります。モンゴル国との間で締結した「強化練習実施に関する事業計画書」に基づきまして、日本国内における費用については、焼津市で負担させていただくということになっております。以上でございます。</p>
<p>志賀図書課長</p>	<p>大石委員から、図書館で一年間に新規購入した図書資料数の実績と処分した図書資料数の実績を教えてください、2・3年分で結構です、という御質問をいただきました。6ページの別紙「図書館の受入数及び払出数一覧」を御覧ください。27年度の購入点数を含めた受入総数は17,611点、払出数は7,281点、差引10,330点の増加となりました。28年度の購入点数を含めた受入総数は16,824点、払出数は11,585点、差引5,239点の増加となっております。以上です。</p>
<p>八木振興公社</p>	<p>大石委員から、文化会館こども芸術発信支援事業とは具体的にどのようなも</p>

<p>常務理事兼焼津文化会館長</p>	<p>のでしょうか、という御質問に対してお答えします。なかなか予算と名前が結びつかないところがあるかと思えますけれども、焼津市総合計画の施策方針では、焼津と大井川の文化会館において、学生を中心とした「こども世代」に対して芸術に親しみ、振興を深めるため、催し物を企画とか開催をしているところでございます。来年度につきましては、焼津文化会館では子ども向けクラシックやサーカスなどを計画しております。また、ミュージコの方では、心の劇場ということで小学6年生ですかね、子どもミュージカルなどを計画しているところでもあります。そのような中で焼津文化会館は32年、大井川文化会館は26年と経過して老朽化が進んでいるところです。特に子どもたちというか、安心安全で利用していただきたいということで、必要な舞台や設備などの整備改修を行うということで、未来を担う若い世代が芸術活動に取り組み、発信できる施設の環境を整える、名前からいくとソフトのように聞こえますが、現実問題としては、ハードを市として整備して、それを活用して振興公社で事業を進めていくというようなものでございます。</p>
<p>小長谷ディスカバリーパーク焼津館長</p>	<p>それでは、大石委員と奥川委員から質問をいただいております。大石委員からは、ディスカバリーパーク焼津で計画されている交流人口を増やすためのロボット教室とは具体的にどのようなもののでしょうか、また、奥川委員からは、ロボット教室は、3年後のプログラミングの教科化へのとっかかりとして要望が強いと思う、ディスカバリーパークが行うことで期待が高まる、どのくらいの規模で実施を計画しているのか、という御質問をいただきました。あわせて回答させていただきます。ロボット教室の具体的内容についてですが、内容は、2工程に分かれます。まず、創意工夫により、様々な物を分解・組み立てができ、何回でも使用可能な教育用ロボットキットを使い、ロボットを組み立てる工程です。次に、タブレットPCで簡単なプログラミングを行いまして、ロボットに送信してロボットを動かす工程となります。教室としては、2種類の教室を考えております。一つ目は、できるだけ多くの方にプログラミングを体験していただくことを目的に行う教室で、あらかじめ、当館職員がロボットを組み立てておき、参加者には決められたプログラムを入力してもらいロボットを動かすものです。規模としましては、一人10分程度、10台のキット・タブレットを使いまして、来館者する全ての方を対象に1日80人程度実施する教室を考えております。来年度は、購入手続き、準備等があるため、翌年度、再来年の2月から3月にかけて3回程度の実施を計画しております。二つ目は、ロボットプログラミングを深く学ぶということを目的に行う教室で、ロボットの組み立てからプログラミングまで全てを行う内容で、かかる時間は半日程度、小中学生を対象にしまして事前に10名程度の定員で募集し実施するもので、1月から2月にかけて2回の開催を考えております。再来年度以降の実施規模につきましては、来年度の応募状況等実績を踏まえまして検討してまいりたいと考えております。以上です。</p>

佐藤教育長	<p>ありがとうございました。議事内容の説明と事前にあった質問についての回答が終わりました。まず、事前質問についての回答等につきまして、皆さんいかがだったでしょうか。大石委員、いかがですか。</p>
大石委員	<p>それでは順番に、まず、文化会館については、去年はふるさと納税の予算をっていう形で確か記述があったと思うのですが、今回はこども芸術発信支援事業というのは昨年と同じような内容かと思うのですけれども、今回は対象になっていないということでしょうか。</p>
八木振興公社 常務理事兼焼 津文化会館長	<p>財政の方のルールでございまして、ふるさと納税を使う場合は、単年度のものというルールがございまして、同じような内容でもちょっと名前を変えなければいけないというものがございまして、こういう形で今回は要求させてもらっています。</p>
大石委員	<p>ディスカバリーパーク焼津のロボットについては、よくわかりました。ありがとうございました。</p> <p>あと、オリンピック・パラリンピックの関係ですが、モンゴル国の選手が合宿する際の費用は、日本国内の費用というのは全て、滞在に係るものは全てという認識で良いのでしょうか。私用でいろいろ買い物するものは別として、例えば宿泊費とか食費とか、あと移動の交通費とか、そういうもの全てを焼津市が負担するというところでよろしいのでしょうか。</p>
松永スポーツ 振興課主幹	<p>委員がおっしゃるように、宿泊費や交通費、あと食事代も含まれますが、その他、傷害保険とかそのようなもの全て、いわゆる日本国内で滞在するときに必要なものは全て焼津市が負担するという考えです。</p>
大石委員	<p>はい、わかりました。これが2020年の本大会までこういう啓発事業であるとかいろいろ年々続いていくと思うのですが、それが本番をむかえるまで焼津市の中でモンゴルと焼津市の関係性というものをどの辺まで発展させていきたいとか、そういう計画というものがあるのでしょうかけれども、どんなものか知りたい、例えば、サッカーのワールドカップで藤枝市がセネガルを合宿でむかえたときには確か本大会のときにはものすごく一体感があったと報道を見る限りではそのときに感じたのですが、焼津市もモンゴルとはそういう関係になっていけば良いかなと私も思っているし、こういうものを利用してどんどんどんどん他からも人が来てくれるような仕掛けができれば良いかなと思っているんで、今、具体的なものがどうこうという訳ではないのですが、将来に向けてそういうこともどんどんどんどんステップアップしていけば良いかなというのを参考の意見として聞いていただければと思います。</p>

佐藤教育長	とりあえず、モンゴルとの交流で計画している、はっきりしているものが今ありますか。
松永スポーツ振興課主幹	先ほどお答えさせていただいた中にもあるのですが、来年度高校生を対象にモンゴル国を訪問しましてスポーツ交流を行うということと、レスリング少年団が過去今年度を含めると3回迎え入れているのがあります。少年団の父兄からの御意見もありますが、是非モンゴルの方にも行きたいという意見もございまして、そちらについても向こうと調整をしていながら交流を深めていければという考えもございまして。あと、国の事業でホストタウンという事業があるのですが、いわゆる2020年のオリンピック・パラリンピックが終わった後にそれぞれの相手国との交流を深めていきたいと思いますという事業がありますので、それに乗るような形で今後もモンゴル国と交流事業を図っていきたくて考えております。
佐藤教育長	こちらの高校生が向こうに行った時の費用などは、どうなってますか。
村松生涯学習部長	補足になりますけれども、来年度、高校生のバスケットについて、市の選抜チームをモンゴルの方に交流ということで派遣しまして、スポーツ交流ということで、レスリングの少年が2回、今度3月に3回目、モンゴルの方が来ますので、レスリングを中心としたスポーツ交流と新たにバスケットを手始めにスポーツ交流を進めたいということと、市民の皆さんにはモンゴルを知ってもらおうということで、いろいろと広報やいづとかでも毎月モンゴル特集を掲載しておりますけれども、あと、学校給食の方とも連携しまして、今年の7月にモンゴル給食を提供しましたので、そういったことも毎年1回、小学生にもモンゴルを知ってもらうために学校給食の提供を行うなど、市民の皆さんがまだモンゴルを知らないということがありますので、やはり、委員がおっしゃるように藤枝がサッカーを通して一つになったということで、焼津市もそうなるようにあと3年、1,000日切ってしまうけれども、何とかそういった形で機運を醸成したいと考えております。費用負担につきましては、こちらの方で行ってもらおうといひますか、交流を進めるということでもありますので市の方で全額負担するような形で考えており、モンゴルの方が日本に来るときには日本に来たときから滞在費については焼津市が負担する形で考えております。
大石委員	あと1点、図書館の方の受け入れと払い出しの数については、良く把握できました。毎年どんどんどん蔵書数が増えていく形になっているのですが、今の図書館にはスペースに限りがあってかなり狭くなっていると思うのですが、毎年毎年増やしていったどこまで増やせるのか、単純に不安になったといひますか、今の状況でこのまま増えていくというのは大丈夫なのでしょうか。

志賀図書課長	<p>焼津図書館、大井川図書館、市内8公民館の図書室、それぞれ増えているのですが、スペースには限りがあるのですが、書庫の方に増えていくこととなります。</p>
大石委員	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
北川委員	<p>洋式トイレの関係で質問したのですけれども、トイレの洋式化というのは学校の耐震化と比べれば優先順位は当然低いでしょうし、行政としては国の交付金そういうものを活用して順次実施していくということは当然ではないかと思えます。しかし、公平性の観点から見ますと小学校低学年を優先するという考えは良くわかるのですが、例えば上の学年からやれば全ての子どもが洋式トイレを活用できますよね。そういう公平性の観点からすれば、別の考え方もあると思えます。いずれにしても、これだけ洋式化を進めなければならないというのは時代の要請なものですから、今後、長寿命化計画とあわせて検討されるということですのでけれども、是非、洋式トイレの推進についても、項目として盛り込んでいって、すぐには無理だと和思いますが可能な限り早く実施できるようにお願いしたいと思います。</p>
奥川委員	<p>最初に、ディスカバリーパークのロボット教室のことですが、今、学校教育が大きくいろいろな面で変わろうとしている一つにこのプログラミングというのが大人よりも子どもたちの関心が高くなっているように私は感じています。そこで、こういうことをやっていただけるということは大変ありがたいという思いがあってここへ書かせてもらいましたが、内容としては良くわかりました。たぶん、希望が多いのではないかと私の予想ですが、実際にはどうなるかわかりませんが、是非、頑張って費用をとっていただきたいなと思えます。学校教育課への質問をたくさんさせていただきまして、申し訳ありませんが、今、お答えいただいたことでそれぞれの内容が良くわかりました。今、どういう点で努力されているのか、私が思っている以上にたくさんのサポーターとか人の支援をしてくださっているのだなということで、ありがたいなと思えます。要求がどんどん膨らむわけですが、支援には限りがあるって言うことはわかるけれどもどこまでお金を使うことができるかという大変難しい局面を上手に采配を振るってくださっているということが今日の説明でよくわかりました。どうぞ、よろしく願いいたします。</p> <p>学校給食課ですが、今、学校の方で扱いを上手にやってくれていて、なかなか更新ということはありませんだろうということは予想付きますが、以前、私はたまたまこの盆とか汁椀とかが変わるときに学校におりました。そのときの子どもたちの喜びみたいなものが、この項目を読んでいてよみがえってきました。たぶん、駄目にならない限りは新しく交換ということはないのだろうなと</p>

佐藤教育長	<p>と思いますが、給食を食べる一つの食器というのは重要な食の指導にもなると思いますので、そういう点で計画をしていただけたらありがたいなと思って、ここへ質問をさせていただきました。ありがとうございました。</p> <p>私の方から言っただけで何なのですが、支援教育で支援員を 55 名、心の教室相談員を 22 名、あわせて 80 名近く入っているのですが、市内 22 校に 80 名近くの支援員さんが入っている、1 校平均 4 名近くになるのですが、沼津市の倍くらい入っています。そういう意味では、市としてだいぶやっただきっており市長さんに感謝しなければと思います。</p>
青島教育部長	<p>人の関係なのですが、私たちが当初要求したときは特別支援員を入れて 188 人に増えるという要求を出したら、金額的に 5,000 万円の増額になり、それが毎年つながっていくという話を出したのですが、正規職員・教員が 600 人に対して 188 人の支援員、そういう状態で良いのかという話が出た中で、実は教職員については県の負担になっています。市費の負担が設備・施設関係とプラスアルファで付ける部分が市の負担ということで、低学年サポーターについては市費負担ということになるのですが、本来、先生の数足りないのではないかという話があるとき出まして、市長はもちろんそうですが、教育長も何か大きな全国会議ですとかに出掛けて行ったときに、まずそもそもの教員増を図って、特別支援員、個別支援員に頼るのではなくて、対応したらどうかという御意見が出ておりますので、そちらの働きかけも同時に進めていくよということで、お金が付かなかったということではなくて、そういう話が出たよということで御承知おきください。</p>
佐藤教育長	<p>自分自身、二つ言うつもりでいますけれども、単純に言うと正規の教員をもっと増やしてほしいと、高校 3 年生の学級には大人であるにもかかわらず、正担任と副担任が二人いるのですけれども、4 月の入学式に行くと 1 年生の学級は人数が 30 人から 35 人とちょっと少ないんですけれども、担任は一人しかいないんです。なかには学年主任を兼ねている人もいます。読み書きはできない、席には座ってられない、身の回りの世話はできないにもかかわらず、一人しかいないので何とかしてほしいと、そんな状態だから小中学校の先生方は多忙だということを書いていきたいと考えています。そのような話は市長さんにも話をさせていただきました。あと、育休の人たちが増えてきて、全部臨時講師となっているものだから、その辺は正規の職員にしてほしいということを教育長会議でも書いていきたいと思っています。この 2 点は、機会があれば書いていきたいと思っています。</p>
佐藤教育長	<p>山竹委員さんはよろしいですか。</p> <p>それでは、議事内容の説明は終わりましたけれども、議第 29 号「平成 30</p>

	<p>年度教育費当初予算要求主要事業（案）について」皆様の御承認をいただけませんでしょうか。</p>
委員全員	<p>（異議なし）</p>
佐藤教育長	<p>ありがとうございました。承認いたします。 続きまして、議第 30 号「焼津市花沢伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について」文化財課長、説明をお願いします。</p>
杉本文化財課長	<p>（事前配布資料により説明） （説明概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼津市伝統的建造物群保存地区保存審議会から焼津市花沢伝統的建造物群保存地区保存計画に新たに 2 棟の建造物を加えることについて異存ない旨の答申を得たことから、保存計画を変更する。 ・保存計画中、表 1 伝統的建造物（建築物）及び図 3 伝統的建造物（建築物）の位置にNo.64 とNo.65 を加える。
佐藤教育長	<p>ありがとうございました。御意見・御質問のある委員がありましたら、発言をお願いします。</p>
佐藤教育長	<p>よろしいですか。それではお諮りします。議第 30 号「焼津市花沢伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について」御承認をいただけませんでしょうか。</p>
委員全員	<p>（異議なし）</p>
佐藤教育長	<p>ありがとうございます。承認いたします。 次に、議第 31 号「焼津市指定有形文化財「香集寺の仁王門」の指定解除について」文化財課長、説明をお願いします。</p>
杉本文化財課長	<p>（事前配布資料により説明） （説明概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香集寺の仁王門が倒壊に伴い解体されたことにより、焼津市指定有形文化財としての価値を失ったため、焼津市指定有形文化財の指定を解除する。 ・仁王像 2 体は、香集寺本堂内に保管、立葵の家紋が入った鬼瓦は、歴史民俗資料館で保管する。
佐藤教育長	<p>ありがとうございました。説明が終わりました。御意見・御質問のある委員の方は、発言をお願いします。</p>

佐藤教育長	よろしいですか。それでは議第 31 号「焼津市指定有形文化財「香集寺の仁王門」の指定解除について」御承認をいただけますでしょうか。
委員全員	(異議なし)
佐藤教育長	ありがとうございます。承認といたします。 次に報告事項に移ります。報告事項の 1 番「平成 29 年 11 月市議会定例会一般質問について」説明をお願いします。
青島教育部長	(事前配付資料、当日配付資料により説明) (説明要旨) ・ 深田議員から、(仮称) ボートレースチケットショップ焼津の建設について一般質問があり、教育長が答弁した。 ・ 深田議員から、幼稚園保育料について一般質問があり、市長が答弁した。 ・ 杉田議員から、市内小中学校へのエアコン設置について一般質問があり、市長及び教育長が答弁した。 ・ 鈴木浩己議員から、防犯カメラの設置について一般質問があり、市長が答弁した。 ・ 石田議員から、子育て世代の経済的負担の軽減について一般質問があり、市長が答弁した。 ・ 太田議員から、幼稚園保育料について一般質問があり、市長が答弁した。
村松生涯学習部長	・ 松島議員から、スポーツ振興の進め方について一般質問があり、市長が答弁した。 ・ 鈴木功治議員から、公民館の利用拡大について一般質問があり、教育長が答弁した。 ・ 村松議員から、焼津体育館の再編について一般質問があり、市長が答弁した。 ・ 川島議員から、ブックシャワーの設置について一般質問があり、教育長が答弁した。
佐藤教育長	ありがとうございました。説明が終わりました。私から少し補足をさせていただきます。ボートピアの関係ですが、もしできた場合にはいろいろな環境についてアンテナを高くして、学校として、教育委員会として、あるいは地元の保護者を代表して企業に要望していかなければならないと思っております。 それでは、御意見・御質問等がありましたら、お願いします。
佐藤教育長	よろしいでしょうか。 それでは、次の報告事項に移ります。2 番、「いじめ問題への対応」、3 番「最

近藤学校教育課長	<p>近の小中学校の状況について」一括して、学校教育課長から説明をお願いします。</p> <p>(当日配付資料により説明) (説明要旨)</p> <p>報告事項3「いじめ問題への対応」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校での新たないじめ問題の認知件数は7件であった。 被害児童が加害児童から暴力・暴言を受け、登校できなくなっている事案が発生したことから、いじめの重大事件として調査を開始した。 被害児童の保護者が加害児童の保護者に対して、訴訟を起こした事案もあった。 ・中学校での新たないじめ問題の認知件数は6件であった。 適切な対応をして、一定の解消、解消に向けて取組中となっている。 <p>報告事項4「最近の小中学校の状況について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校は、小学生38人、中学生95人となっている。12月12日の市教頭会中学校部会で、適応指導教室との連携、長期不登校生徒と定期的に連絡をとることについて確認した。 ・問題行動は、小学校3件、中学校9件であった。中学3年生の問題行動が減少し、1・2年生の問題行動の割合が大きくなってきた。 ・交通事故は、小学校・中学校ともに1件であった。 ・不審者は1件あったが、大きな被害はなかった。 ・年末の授業最終日は全校12月22日、授業開始日は1月5日に8校、9日が14校となっている。
佐藤教育長	<p>小中学校に関する説明が終わりましたが、委員の皆さん、発言がありましたらお願いします。</p>
佐藤教育長	<p>よろしいでしょうか。それでは、報告事項の4番、「平成30年度学校給食費の額について」説明をお願いします。</p>
鈴木学校給食課長	<p>(事前配付資料により説明) (説明要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の学校給食費の額は、平成29年度と同額で当初予算要求をしている。 ・据え置きは、平成26年度に値上げしたこと、主食・牛乳・その他食材の価格が落ち着いていることから判断した。
鈴木学校給食	<p>奥川委員から、モンゴルの献立を考えるなど工夫しながら据え置きで提供し</p>

課長	<p>ていただけることに感謝するとの貴重な御意見をいただきました。ありがとうございました。今後も児童生徒に安全で安心して美味しく食べられる給食を提供できるよう努力してまいります。</p>
佐藤教育長	<p>説明が終わりましたけれども、この件についてはどうでしょうか。値上げではないことから、良いかと思えます。</p>
佐藤教育長	<p>それでは、次第にはないのですけれども、学校給食課長から追加でもう1件報告事項があるものですから説明をお願いします。</p>
鈴木学校給食課長	<p>本日、追加ということで報告させていただきます。内容につきましては、学校給食センターの再編につきましてでございます。現在、学校給食課では老朽化した学校給食センターの再編方針につきまして検討しているところでございます。今年度は、学校給食検討委員会を2回開催しており、委員会としての意見が概ね集約され、その意見集約を尊重しながら現在学校給食センターの再編方針について庁内で調整しているところでございます。再編方針案がまとまり次第、教育委員会にお諮りすることを予定しております。また、再編方針につきましては、本市が平成27年3月に作成した第1期公共施設再編プランに基づく個別再編プランにおける取組内容としまして、学校給食検討委員会の検討を踏まえ、平成29年度に学校給食センター再編方針を策定し、この方針に基づき取組を推進しますとしており、今年度老朽化した学校給食センターの再編方針を決定することとされておりますので、公共施設マネジメント対策本部及び公共施設マネジメント検討委員会に再編方針を提出する予定となっております。以上、報告させていただきました。よろしく申し上げます。</p>
佐藤教育長	<p>学校給食センターは今、1箇所です。1万2千食作っているのですが、だいぶ古いし、そろそろ老朽化で限界があるということですから、その再編を検討し始めているということで、年を越して1月か2月の定例の教育委員会でその内容を少し説明できるかなと思っております。また、よろしく申し上げます。これについて、御意見ありましたらお願いします。</p>
佐藤教育長	<p>それでは、報告事項はこれで閉じさせていただきます。その他で1件、「定期刊行物「DISCOVERY No.90」の発行」及び「ディスカバリーパーク焼津20周年記念講演会について」説明をお願いします。</p> <p>(事前配付資料により説明) (説明要旨)</p>
小長谷ディスカバリーパー	<p>・定期刊行物「DISCOVERY No.90」を発行した。ディスカバリーパーク焼津20周年記念、冬の特別展「すごワザグランプリ」を開催している。プラ</p>

ク焼津館長	<p>ネタリウムでは、新番組やクリスマスの特別番組を開催している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカバリーパーク焼津 20 周年記念後援会として、ノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章先生の講演会を 2 月 4 日（日）に開催する。
佐藤教育長	<p>この講演会につきましては、まともにやるとたくさん集まってしまうことから、市内在住という形でありあまり大きく宣伝しなかったものですから、是非、声をかけることができましたらお願いします。御意見・御質問ありますでしょうか。</p>
佐藤教育長	<p>それでは、以上で本日の議事は全て終了しました。全体を通して、何かありましたら、お願いします。</p> <p>よろしいですか。それでは、次回は、来年 1 月 17 日水曜日午後 3 時からということで、この第 3 委員会室で行いますのでよろしくをお願いします。</p> <p>それでは以上をもちまして、12 月定例教育委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">【午後 4 時 28 分閉会】</p> <p>以上、12 月定例教育委員会の議事録を記録し、相違ないことを証するために、ここに署名する。</p> <p>平成 29 年 12 月 20 日</p> <p style="text-align: center;">教育長 _____</p> <p style="text-align: center;">教育委員 _____</p> <p style="text-align: center;">教育委員 _____</p> <p style="text-align: center;">議事録調製人 _____</p>